

# 文学部

文学部生の

5

リアルな！  
学生生活  
vol.22

文学部生のリアルな学生生活の様子を掲載し、ご父母の皆さまに文学部生の充実したキャンパスライフの風景、また文学部ならではの取り組み等の情報を発信いたします。



## 「図書館司書」を誤解していませんか？

図書館司書の存在は知っていても、詳しいことは知らないという人は多いのではないのでしょうか？ 本好きの人がなる仕事だと思っている人も少なくはないでしょう。実際の図書館司書がどのような仕事をし、社会にどのような影響をおよぼす職業であるのか、知れば知るほどその世界は奥が深く、とても魅力的な職業だと思っています。中学生のときに学校図書室の司書教諭に憧れて以来その魅力に夢中になり、図書館や情報にまつわることをたくさん学びたいと考え、私は社会情報学専攻を選びました。

## 「社会情報学」とは

私が所属する社会情報学専攻の特色として、社会学系と情報技術系の授業が多いことが挙げられます。そもそも社会情報学とは、私が1年間学んできたなかでの解釈でいうと情報学の観点から社会を見る学問です。もつといえれば情報の本質、動き、歴史、あり方、形、情報とのかかわり方などから、社会とはどのようなものなのかを紐解いていくのです。専門的で難しそうだと感じるかもしれませんが、1年次には「社会情報学概論」や「図書館情報技術論」といった講義があり、先生方が丁寧に教えてくださいます。質問や要望にも快く対応してくださるので、す



スチューデントライブラリアンでの作成物

ぐに基礎を身につけることができました。

## 「情報」はこれからの社会の根幹を担うもの

社会情報学を学び始めてまだ1年しかたっていませんが、この短い期間でも社会のことをたくさん学びました。その学びのなかで私が自信をもっているのは「情報はこれからの社会の根幹を担うもの」だということです。

SNS、テレビ、新聞、雑誌、スマホなど、近年私たちの周りでは目まぐるしく情報が行き交い、それを発信したり受信したりする媒体やシステムも



社会情報学を学ぶ筆者

## これからの社会の根幹を担う「情報」の本質を学ぶ—図書館司書の可能性

いしづか みゆ  
石塚 美有

文学部人文社会学科社会情報学専攻2年  
東京都立保谷高校出身

数多く普及しています。しかし、根拠はそこではないのです。たくさん情報を多くの人々が簡単に得られる今の時代、たくさんのお仕事を知っている人が優れているとはいえません。必要な情報をいかに効率よく手に入れ、どのように使えばいいのかわ知っている人こそが、今の社会、そしてこれからの社会を担っていくのです。

情報がそこにあるだけでは何の価値もありません。その情報を誰かが知り、何かの方法で発信し、数多の人が何かしらの手段で受信する。その繰り返しです。そのなかで情報は初めて価値を帯び、優劣がついてくる。それが、私が大学1年目で学んだことです。

## 「図書館司書の可能性

右記のことを学んで、私は図書館司



「図書館情報技術論」の授業の様子

書に可能性を見出しました。なぜなら、司書という職業は情報の扱いに非常に長けていないと務まらないからです。近年、日本では図書館を利用する若者が減少傾向にあるようです。図書館では情報を検索して手に入れるまでの手間が多く、利便性に欠けるからでしょうか。もしそうだとしたら、非常にもつたいないと心から思います。図書館は元来、情報を貯蔵して伝えていくためにあるものです。ですから、情報の発展とともに図書館も発展してきたため、図書館は一見、見た目が変わらないように見えて、実は大きく進化しています。その進化の形は電子図書館や課題解決型図書館、複合施設型図書館などさまざまですが、図書館という存在をうまく使えば、今や非常に

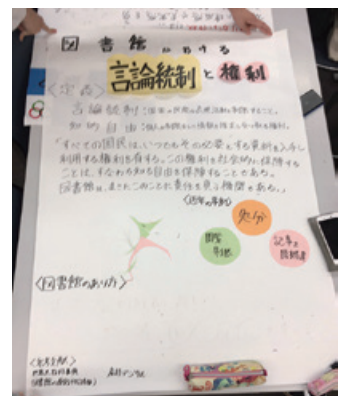
多様なことができるようになっていくのです。司書の仕事は図書館の業務を行うことですが、業務にはより多くの人に図書館を使ってもらう工夫をすることや、利用者に図書館の使い方を案内することも含まれます。だからこそ、司書は情報をうまく扱える人を増やし、社会に大きな影響をおよぼすことができるとは思います。

大学生活を通して図書館司書の可能性に気づき、より一層司書への興味か

高まった私は、スチューデントライブリアンという課外活動に参加しました。中央大学付属杉並高等学校と連携して本への理解を深めたり、図書館利用促進のためのイベントを企画・運営したりする活動のなかで多くの実践的な課題や業務に直面し、司書に対する理解を深めました。

今後自分なりの方法で情報にまつわる学びを深め、また図書館や図書館司書の可能性についてどうすれば多く

の人に知ってもらえるのかを考えるためにも、さまざまな活動に意欲的に取り組んでいきたいと思っています。



講義内の発表で使う模造紙を作成

## 証明書はコンビニで!

文学部事務室  
わたなべ はる 香  
渡辺 晴香



From the Faculty of Letters



文学部 だより

皆さんは、最寄りのコンビニで証明書が発行できることをご存じでしょうか?

中央大学では、2017年より「証明書コンビニ発行サービス」を開始しております。大学に來なくても、日本全国のセブン・イレブン、ファミリーマート、ローソンで24時間365日、各種証明書の発行ができるサービスです。在学生は、在学証明書、成績証明書、通学証明書、健康診断証明書、卒業見込証明書などがサービスの対象です。

ご利用の手順としては、最後にもご案内している証明書コンビニ発行サービスのWebページから、統合

認証（C plus や manaba にログインする際と同じもの）でログインしていただき、〈必要な証明書を申請〉  
↓〈手数料のお支払い〉↓〈印刷予約番号を利用してコンビニ店内のマルチコピー機から印刷〉という大まかな流れになります。

本サービスを利用すれば、わざわざ大学に來なくても通学証明書を取ることができますので、新学期に混雑する証明書等自動発行機に並ぶ必要もなく、学生によっては大学までの交通費も節約できます。また、都心での就職活動中に急に成績証明書や卒業見込証明書が必要になった場合にも、スマートフォンから申請してコンビニ

で取得することができます。

ご父母の皆さまも、ご子女の年金の猶予手続きなどで在学証明書が必要になったとき、また、ご子女がご実家を離れて一人暮らしをしている場合や海外にいる場合でも、申請さえご本人に行っていたら、ご自宅近くのコンビニで証明書の取得が可能です。

在学中だけではなく、卒業後もご利用いただける便利なサービスですので、ぜひ活用ください。

〈証明書コンビニ発行サービス〉

<http://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/certificate/convenience/>

